

論 文

幼小接続期における「共通事項」に着目した 歌唱教材の研究

櫻井琴音・早川純子

(西九州大学子ども学部子ども学科, 南九州大学人間発達学部子ども教育学科)

(平成29年9月29日受理)

A Study of Song Teaching Materials Focusing on *Kyotsu-Jiko* for the Connection of Infancy to School Age

Kotone SAKURAI, Junko HAYAKAWA

(*Department of Children's Studies, Faculty of Children's Studies, Nishikyushu University*
Department of Child Education, Faculty of Human Development, Minami Kyushu University)

(Accepted September 29, 2017)

Abstract

This study examines song teaching materials for connecting infancy to school age, analyzing musical elements such as a meter, rhythm, scale (key, mode), and phrase, of the top-one-hundred songs among the data investigated by *Zenkoku Daigaku Ongaku Kyouiku Gakkai*, one of the Japanese academic society for music education. The results of this study are as follows:

1. Concerning the first appearance of each song, the largest number of them were the Showa's (post-war) production accounting for a little less than 60%, followed by Meiji and then Taisho period.
2. As for the meter, the majority is a quadruple meter followed by a duple meter. These two meters predominate accounting for 91%.
3. The most frequently appeared rhythmic pattern is a dotted rhythm that consists of a dotted eighth note and a sixteenth note. Therefore, it can be said that this dotted rhythm is characteristic of both quadruple and duple meter songs that make up the majority.
4. The most common scale is a pentatonic scale. Almost half of the songs are based on this traditional Japanese scale. Regarding a phrase, songs that consist of four phrases are the majority, and three phrase songs follow.

Key words : Connection of Infancy to School Age 幼小接続期
Song Teaching Materials 歌唱教材
Musical Elements 音楽の要素

1. はじめに

幼小連携教育の重要性が強調されるようになって久しい。幼小連携とは、幼稚園や保育所などの保育現場において、主として遊びを通して展開される幼児期の生活と、小学校における教科の学習で展開される低学年の教育とを、内容や方法の面で工夫を行うことにより、子どもたちにとって無理のないスムーズな学習の接続を図ること、あるいはそのために行われる条件整備を指して用いられる。

平成29年に、小学校学習指導要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が告示されたが、それ以前の平成21年に施行された保育所保育指針と幼稚園教育要領には、小学校との連携推進に関する内容が盛り込まれるとともに、平成20年告示小学校学習指導要領においても、幼稚園に加え保育所との連携が明記されたという経緯がある。これらを受け、幼小連携教育の重要性が強調されたことによって、「幼小連携」や「幼小一貫」といった冠のついた研究大会が、国立大学附属学校園を中心として全国的に数多く開催されてきた。これらのことは幼小連携教育が注目され、現場にはその必要性の高さと喫緊の課題が山積していたことを物語っている。そのことは幼小接続期における音楽教育のあり方についても同様であった。

保育現場で歌をうたわない日はない、といっても決して過言ではない。朝の歌、お帰りの歌、季節の歌、行事の歌など、日常的に音楽活動が組み込まれていることから、保育における様々な活動の中でも音楽の諸活動は、特に重要な位置を占めていると言える。しかし、そこには看過できないいくつかの問題がある。

例えば、保育者用に編纂された歌唱教材曲集の分類方法を見ると、歌詞の内容によって春の歌・夏の歌・秋の歌・冬の歌・行事の歌・遊び歌・動物の歌・その他の歌のような分別や、月ごとに歌唱教材がまとめられているのが一般的である。テキストには各曲を用いた保育の展開例も記載されており、その内容は子どもの育ちに即した踊り、合奏、劇遊び等への展開例を示したものとなっている。このような実践的内容の記述というのは、保育者が日々の単元内容を考える上での有用な参考資料と成り得るものではあるが、音楽活動そのものが全面に押し出されており、個々の音楽活動を通して、子どもたちに身につけさせるべき音楽の力とどのように係らせ、

「音楽の何を教えるのか」といった観点については、十分に目が向いているとは言い難い。

同様の指摘が、小学校音楽科においても散見できる。そうした指摘を踏まえつつ、子どもの学びの連続性ということに目を向けるならば、保育現場における幼児期の音楽活動と小学校の音楽科教育との接続期における音楽教育のあり方について検討するための教材研究を行う重要性は、今なお高いと言えよう。

全国大学音楽教育学会は、平成18年4月から平成20年3月までの約2年間をかけて、全国各地の保育者養成校の音楽担当教員と幼稚園・保育所の保育者を対象に、音楽的にすぐれた作品で後世に伝承する価値の高い子どもの歌をリストアップすることを目的としたアンケート調査を実施し、その結果を平成21年8月に刊行した学会紀要別冊号において報告している¹。それ以降、同様の目的で実施された全国的規模での調査結果は管見されないことから、本研究ではこのデータを援用することとし、小学校学習指導要領音楽科の低学年の共通事項に示された音楽要素の観点から分析することによって、これらの曲に見られる傾向を捉えることを目的とする。

2. 研究方法

2-1 分析対象曲

全国大学音楽教育学会は学会事業として、平成25年に「明日へ歌い継ぐ日本の子どもの歌—唱歌童謡140年の歩み—」を出版している²。この出版に向けて当学会では、音楽的にすぐれた作品で後世に伝承する価値の高い子どもの歌をリストアップすることを目的に、全国を北海道、東北、中部、関東、関西、中・四国、九州の7ブロックに分け、各地区の学会員が保育者養成校の音楽担当教員と幼稚園・保育所の保育者を対象にアンケート調査を実施した。

この調査は、学術的に価値の高い歌集を編纂するための基礎データとすることを目的に行われたものであり、まず明治以降の童謡や子どもの歌を洗い直すことから着手し、それらの中から現代の子どもや保育者たちには是非歌ってほしい（知ってほしい）歌、また音楽的文化遺産として後世に伝承したい歌を集約している。

本研究では、この紀要別冊号で報告された調査結果のうち、保育者が後世に伝承したい曲として挙げた曲の上位100曲を分析対象曲とする³。これらの具

体的な曲名については、順位と共に後掲の表1に記す。

2-2 分析方法

本研究では、以下の点について分析する。

- (1)各曲の初出年を調べ、これらの曲の年代別分布を捉える。
- (2)幼小接続を意図し、小学校学習指導要領音楽科の共通事項に示されている音楽要素の中から、各曲の拍子やリズム、音階や調及びフレーズについて分析する。

3. 結果及び考察

保育者が後世に伝承したい曲として挙げた上位100曲の順位と曲名は、表1の通りである。本研究で採用した全国大学音楽教育学会紀要別冊号に掲載されている一覧表には、各曲の具体的な初出年は記されておらず、明治、大正、戦前、戦後の4期での分類が記されている⁴。そこで、本研究では学会の紀要別冊号に書かれている時代区分を参考にしながら、各曲の初出年を調べることにした。各曲の順位、曲名、初出年をまとめたものが表1である。

曲の初出の定義は難しい⁵。音楽の場合は、詩と曲が揃った楽譜として印刷されたことをもって初出とするという考え方もあるが、詩の方が先に発表され、その後に曲が付けられるということもある。また、放送媒体で発表された後に、楽譜が出版されることもある。

表1を作成するにあたり、詩が先に発表されて、その後に曲が付けられた場合は、楽譜としての発表を初出とした。また、放送媒体で発表された場合は、最初の放送を初出とした。(表1は80頁に掲載)

3-1 年代別内訳

全国大学音楽教育学会紀要別冊号の調査時期から更に10年が経過しており、元号が平成になって30年近くが経過している。そこで本研究では、表1に記した各曲の初出年をもとに明治、大正、昭和(戦前)、昭和(戦後)、平成の5期に分類し、その内訳をまとめた。図1は、その結果である。

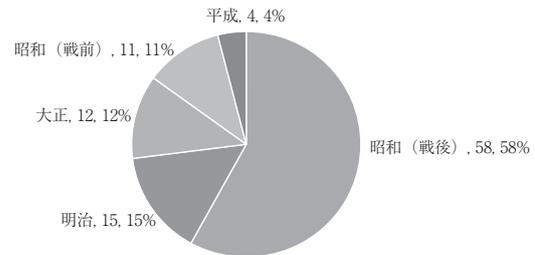


図1 表1の初出年別内訳

上位100曲の中で最も多かったのは昭和(戦後)に発表された曲で、100曲中58曲がこれに該当する。実に全体の58%を占めており、他の時代の曲数を大きく引き離している。次いで明治の15曲(15%)、大正の12曲(12%)、昭和(戦前)の11曲(11%)、平成の4曲(4%)という結果であった。

表1の中で最も古い曲は、明治21年初出の「さくらさくら(92位)」で、この曲は小学校音楽科の共通教材にもなっている。その他、明治の曲には、「かたつむり」「雪」「春が来た」「虫のこえ」のように、保育現場で季節の歌として歌われている曲も含まれていた。明治の15曲は初出から100年以上が経過しているが、今なお保育現場や小学校で歌われ続けている。表1の中の特に明治、大正、昭和(戦前)の38曲は、世代を超えて長きにわたって歌い継がれてきた曲であると言える。

小学校音楽科や保育現場での歌唱活動に用いられるなど、長い年月にわたって世代を超えて歌い継がれてきたこれらの曲は、多くの人にとっての愛唱歌として定着していると言えよう。後世へと伝えていきたい曲として保育者から支持され続けていることから、これらの曲は今後も次世代へとさらに歌い継がれていく可能性が期待できよう。

100曲中、年代的に最も新しく平成の曲には、「どんな色がすき」「パンダうさぎコアラ」「世界で一つだけの花」「みんなともだち」の4曲が挙げられていた。全国大学音楽教育学会がアンケート調査を実施した時点で、元号が平成になって20年近くが経過していた。この20年間にも様々な曲が発表されたが、後世に伝えたい曲100位に占める平成の曲は、他の時代の楽曲数に比べると桁が違うほど少なかった。

表1 保育者が伝承したい曲の上位100曲

順位	曲名	初出年	順位	曲名	初出年
1	ぞうさん	昭和27年	51	やぎさんゆうびん	昭和27年
2	たなばたさま	昭和16年	52	たのしいね	昭和39年
3	チューリップ	昭和7年	53	あくしゅでこんにちは	昭和43年
4	手のひらを太陽に	昭和36年	54	あめふり	大正14年
5	どんぐりころころ	大正10年	55	うさぎとかめ	明治34年
6	とんぼのめがね	昭和24年	56	ふしぎなポケット	昭和29年
7	うれしいひなまつり	昭和10年	57	とけいのうた	昭和36年
8	手をたたきましよう	昭和29年	58	鳩	明治44年
9	かたつむり	明治44年	59	春よ来い	大正12年
10	犬のおまわりさん	昭和35年	60	おなかのへるうた	昭和35年
11	げんこつ山のたぬきさん	昭和48年	61	北風小僧の寒太郎	昭和47年
12	しゃぼん玉	大正12年	62	こおろぎ	昭和26年
13	たきび	昭和16年	63	どんな色がすき	平成4年
14	赤とんぼ	昭和2年	64	みかんの花咲く丘	昭和21年
15	一ねんせいになったら	昭和41年	65	七つの子	大正10年
16	おもいでアルバム	昭和36年	66	パンダうさぎコアラ	平成2年
17	コイノボリ	昭和6年	67	おべんとう	昭和24年
18	うみ	昭和16年	68	汽車ポッポ	昭和14年
19	お正月	昭和34年	69	ありさんのおはなし	昭和25年
20	ことりのうた	昭和29年	70	肩たたき	大正12年
21	そうだったら いいのにな	昭和47年	71	桃太郎	明治44年
22	南の島のハメハメハ大王	昭和51年	72	春の小川	大正元年
23	雪	明治44年	73	うたえバンバン	昭和45年
24	バスごっこ	昭和41年	74	おうま	昭和16年
25	おもちゃのチャチャチャ	昭和37年	75	アイスクリームの歌	昭和35年
26	おかあさん	昭和32年	76	世界で一つだけの花	平成14年
27	こぶたぬきつねこ	昭和48年	77	大きなたいこ	昭和27年
28	コンコンクシヤンのうた	昭和36年	78	ドキドキドン！一年生	昭和61年
29	世界中のこどもたちが	昭和63年	79	サっちゃん	昭和34年
30	あめふりくまのこ	昭和37年	80	まっかな秋	昭和38年
31	おつかいありさん	昭和25年	81	ドロップスのうた	昭和37年
32	おはながわらった	昭和37年	82	なつの思い出	昭和24年
33	にんげんっていいな	昭和59年	83	靴が鳴る	大正8年
34	春が来た	明治43年	84	うらしまたろう	明治44年
35	小さい秋みつけた	昭和30年	85	茶摘	明治45年
36	おはなしゆびさん	昭和37年	86	ツキ	明治43年
37	かわいいかくれんぼ	昭和26年	87	山のワルツ	昭和37年
38	虫のこえ	明治43年	88	花	明治33年
39	めだかの学校	昭和26年	89	手をつなごう	昭和40年
40	やきいもグーチャーパー	昭和44年	90	ともだちになるために	昭和62年
41	とんでったバナナ	昭和37年	91	背くらべ	大正12年
42	すうじの歌	昭和32年	92	さくら さくら	明治21年
43	てるてる坊主	大正11年	93	証城寺の狸ばやし	大正14年
44	アイアイ	昭和37年	94	かくれんぼ	昭和16年
45	お化けなんてないさ	昭和41年	95	切手のないおくりもの	昭和52年
46	カレーライス	昭和40年	96	きんたろう	明治33年
47	みんなともだち	平成元年	97	もみじ	昭和6年
48	夕焼小焼	大正8年	98	大きなうた	昭和54年
49	あわてんぼうのサンタクロース	昭和46年	99	トマト	昭和31年
50	紅葉	明治44年	100	われは海の子	明治43年

出典：順位と曲名は全国大学音楽教育学会紀要（2009）別冊号53-55頁より

3-2 楽曲分析

本稿では、表1の100曲を対象に、拍子やリズム、音階や調、フレーズについて分析を行った。

3-2-1 拍子やリズム

拍子やリズムの分析結果を一覧にしたものが、表2である。

表2 拍子やリズム

順位	曲名	拍	リズム
1	ぞうさん	3/4	♪♪♪
2	たなばたさま	2/4	
3	チューリップ	2/4	♪♪
4	手のひらを太陽に	4/4	♪♪♪♪
5	どんぐりころころ	2/4	♪♪の順次下行型
6	とんぼのめがね	2/4	
7	うれしいひなまつり	2/4	♪♪
8	手をたたきましょう	4/4	♪♪♪♪
9	かたつむり	2/4	♪♪♪
10	犬のおまわりさん	4/4	♪♪♪♪
11	げんこつ山のたぬきさん	4/4	ビョッコ節
12	しゃぼん玉	2/4	
13	たきび	2/4	
14	赤とんぼ	3/4	♪♪♪
15	一ねんせいになったら	4/4	ビョッコ節
16	おもいでアルバム	6/8	♪♪♪♪
17	コイノボリ	3/4	♪♪♪
18	うみ	3/4	♪♪♪
19	お正月	4/4	
20	ことりのうた	4/4	ビョッコ節
21	そうだったらいいのにな	4/4	ビョッコ節
22	南の島のハメハメハ大王	4/4	
23	雪	2/4	ビョッコ節
24	バスごっこ	4/4	
25	おもちゃのチャチャチャ	4/4	♪♪♪
26	おかあさん	4/4	♪♪♪♪
27	こぶたぬきつねこ	4/4	♪♪
28	コンコンクシャンのうた	2/4	ビョッコ節
29	世界中のこどもたちが	4/4	三連符、ビョッコ節
30	あめふりくまのこ	2/4	ビョッコ節
31	おつかいありさん	2/4	ビョッコ節
32	おはながわらった	2/4	♪♪♪、♪♪
33	にんげんっていいな	4/4	
34	春が来た	4/4	♪♪♪♪
35	小さい秋みつけた	4/4	♪♪♪♪、♪♪
36	おはなしゆびさん	4/4	ビョッコ節
37	かわいいかくれんぼ	2/4	ビョッコ節
38	虫のこえ	2/4	
39	めだかの学校	4/4	
40	やきいもグーチーパー	4/4	ビョッコ節
41	とんでったバナナ	4/4	♪♪
42	ずうじの歌	4/4	ビョッコ節
43	てるてる坊主	2/4	
44	アイアイ	4/4	♪♪
45	おばけなんてないさ	4/4	三連符、ビョッコ節
46	カレーライスのうた	4/4	
47	みんなともだち	4/4	
48	夕焼小焼	2/4	
49	あわてんぼうのサンタクロース	4/4	
50	紅葉	4/4	♪♪♪♪

順位	曲名	拍	リズム
51	やぎさんゆうびん	2/4	
52	たのしいね	4/4	♪♪♪♪
53	あくしゅでこんには	2/4	
54	アメフリ	2/4	ビョッコ節
55	うさぎとかめ	2/4	ビョッコ節
56	ふしぎなポケット	2/4	
57	とけいのうた	4/4	♪♪♪♪
58	鳩	2/4	
59	春よ来い	2/4	♪♪♪
60	おなかのへるうた	2/4	ビョッコ節
61	北風小僧の寒太郎	4/4	ビョッコ節+長い音
62	こおろぎ	2/4	♪♪
63	どんないろがすき	4/4	ビョッコ節+♪
64	みかんの花咲く丘	6/8	♪♪♪♪
65	七つの子	4/4	
66	パンダうさぎコアラ	4/4	ビョッコ節
67	おべんとう	2/4	♪♪
68	汽車ポッポ	2/4	♪♪♪、♪♪
69	ありさんのおはなし	3/4	♪♪♪
70	肩たたき	2/4	♪♪♪♪♪♪
71	桃太郎	2/4	
72	春の小川	4/4	
73	うたえパンパン	4/4	♪♪
74	おうま	4/4	
75	アイスクリームの歌	4/4	♪♪
76	世界で一つだけの花	4/4	♪♪
77	大きなたいこ	2/4	♪♪
78	ドキドキドン!一年生	4/4	
79	サッチャン	2/4	
80	まっかな秋	4/4	♪♪
81	ドロップスのうた	2/4	
82	夏の思い出	4/4	8分休符+♪♪
83	靴が鳴る	4/4	♪♪
84	浦島太郎	2/4	♪♪
85	茶摘み	4/4	四分休符+♪♪
86	ツキ	2/4	
87	山のワルツ	3/4	♪♪
88	花	2/4	♪♪
89	手をつなごう	2/4	♪♪
90	ともだちになるために	2/2	♪♪
91	背くらべ	3/4	♪♪
92	さくら	4/4	
93	證城寺の狸ばやし	2/4	♪♪♪
94	かくれんぼ	2/4	ビョッコ節
95	切手のない贈り物	2/2	
96	金太郎	2/4	♪♪
97	もみじ	2/4	
98	大きなうた	4/4	四分休符+♪♪
99	トマト	2/4	♪♪
100	われは海の子	4/4	♪♪♪♪

出典：順位と曲名は全国大学音楽教育学会紀要（2009）別冊号53-55頁より

以下の図2は、表2をもとに分析対象楽曲の拍子について集計した結果である。

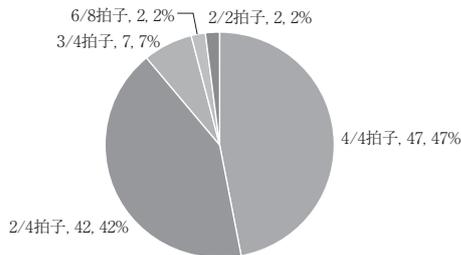


図2 表2の拍子の内訳

拍子は、単純拍子、複合拍子、混合拍子に分けられるが、100曲の中には混合拍子のような複雑な拍子は含まれていなかった。単純拍子である2/2拍子、2/4拍子、3/4拍子、4/4拍子は、それぞれ2曲（2%）、42曲（42%）、7曲（7%）、47曲（47%）あり、唯一の複合拍子である6/8拍子は、2曲（2%）であった。

2拍子系と4拍子系が圧倒的に多く、91曲（91%）を占めている。このことは日本の子どもの歌において、これらの拍子が支配的であることを示している。一方、3拍子系である3/4拍子は7曲（7%）のみで、その割合は低い。ただ、1位の曲が3/4拍子であることや、上位18位までに7曲中4曲が含まれている点は注目すべきだろう。

特徴的なリズムとしては、まず付点のリズム（付点8分音符と16分音符の組み合わせ）が繰り返される、いわゆるピョンコ節が20曲に認められ、同種のリズムを持つ曲数としては最多である。また、ピョンコ節である付点のリズムと付点ではない8分音符2つの組み合わせから成る曲も5曲に認められる。

3/4拍子の7曲のうち4曲には、8分音符2つと4分音符2つの組み合わせ（♪♪）が見られる。このリズムは日本の3拍子に特徴的なリズムと考えられる⁶。

他方、2拍子と4拍子の曲には、4分音符と8分音符2つの組み合わせ（♪♪）を含むリズムが10曲に見られる。これらでは、3拍子で特徴的だった8分音符2つに4分音符が続く（♪♪）パターンとは逆になっていることが分かる。さらに休符から始まるという特徴を持つリズムも3曲（夏の思い出、茶摘み、大きなうた）認められる。

3-2-2 音階や調

各曲の音階や調についての分析結果をまとめたものが、表3である。（表3は83頁に掲載）

音階については、大きく7音音階と5音音階およびさらに少ない音階に区別して考えたい。7音音階に分類した楽曲は55曲で、5音音階他は45曲である。7音音階の中には、第4音ないし第7音が欠けている音階もあった。それらは、6音音階とせず7音音階とした⁷。また、5音音階に最も多くを占めるのは、第4音と第7音を欠いたヨナ抜き音階と呼ばれるもので、45曲中実に43曲を占めている。5音音階より少ない3音ないし4音音階と見なされる楽曲は、わらべうたの1曲のみであった。ヨナ抜き音階については、第4音が1ヶ所含まれるものが5曲、第7音が1ヶ所含まれるものが1曲あったが、それら1回のみ現れる音は経過的なものと見なしヨナ抜き音階に分類した。

5音音階が半分近くを占めているが、これらの殆どは7音音階の楽曲が依拠する機能และ声に基づいて理解することも可能であることから、調性による分類も施した⁸。その集計結果が、図3である。

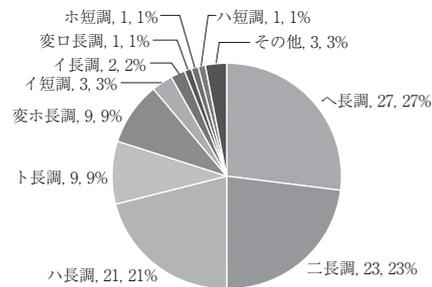


図3 表3の調の内訳

100曲中へ長調が27曲（27%）で最多であり、次にニ長調23曲（23%）、そしてハ長調の21曲（21%）と続く。その次に、9曲ずつ（9%）でト長調と変ホ長調が並ぶ。子どもの歌は長調の曲が大半を占めており、短調に分類した楽曲はわずか5曲（5%）であった。

3-2-3 フレーズ

各楽曲のフレーズを分析した結果を一覧にしたものが、表4である。（表4は84頁に掲載）

表3 音階や調

順位	曲名	音階	調
1	ぞうさん	ヨナ抜き音階	へ長調
2	たなばたさま	ヨナ抜き音階	ト長調
3	チューリップ	ヨナ抜き音階	へ長調
4	手のひらを太陽に	7音音階	変ホ長調
5	どんぐりころころ	7音音階	ハ長調
6	とんぼのめがね	ヨナ抜き音階	ハ長調
7	うれしいひなまつり	ヨナ抜き短音階(第4音1ヶ所)	ハ短調
8	手をたたきましよう	7音音階(第7音ナシ)	ニ長調
9	かたつむり	ヨナ抜き音階(第4音1ヶ所)	ニ長調
10	犬のおまわりさん	7音音階	ニ長調
11	げんこつ山のためきさん	3ないし4音音階?	イ短調
12	しゃぼん玉	ヨナ抜き音階(第4音1ヶ所)	ニ長調
13	たきび	ヨナ抜き音階(第4音1ヶ所)	ハ長調
14	赤とんぼ	ヨナ抜き音階	へ長調
15	一ねんせいになったら	ヨナ抜き音階	へ長調
16	おもいでのアラバム	7音音階	ハ長調
17	コイノポリ	ヨナ抜き音階	ニ長調
18	うみ	ヨナ抜き音階	ト長調
19	お正月	ヨナ抜き音階	へ長調
20	ことりのうた	7音音階	ニ長調
21	そうだったらいのにな	7音音階	ハ長調
22	南の島のハメハメハ大王	7音音階	へ長調
23	雪	7音音階(第7音ナシ)	へ長調
24	バスごっこ	7音音階	へ長調
25	おもちゃのチャチャチャ	7音音階	ハ長調
26	おかあさん	7音音階(第4音ナシ)	ニ長調
27	こぶためきつねこ	7音音階	ニ長調
28	コンコンクシヤンのうた	7音音階	へ長調
29	世界中のこどもたちが	7音音階(第4音ナシ)	ト長調
30	あめふりくまのこ	7音音階(第7音ナシ)	ニ長調
31	おつかいありさん	7音音階	ニ長調
32	おはながわらった	7音音階	へ長調
33	にんげんっていいな	7音音階	ト長調(中間部:ホ短調)
34	春が来た	7音音階(第7音ナシ)	ハ長調
35	小さい秋みつけた	e-fis-g-a-hの5音音階(第6,7音ナシ)	ホ短調
36	おはなしゆびさん	7音音階	変ホ長調
37	かわいいかくれんぼ	ヨナ抜き音階	へ長調
38	虫のこえ	7音音階(第4音ナシ)	ハ長調
39	めだかの学校	ヨナ抜き音階	ニ長調
40	やきいもグーチャーパー	7音音階	ハ長調
41	とんでったバナナ	7音音階	ハ長調
42	すうじの歌	7音音階	ハ長調
43	てるてる坊主	ヨナ抜き短音階	(嬰ハ短調→)ロ短調
44	アイアイ	7音音階	ハ長調
45	おばけなんてないさ	7音音階	ト長調
46	カレーライス	ヨナ抜き音階	変ホ長調
47	みんなともだち	7音音階	ニ長調
48	夕焼小焼	ヨナ抜き音階	ハ長調
49	あわてんぼうのサンタクロース	7音音階(第7音ナシ)	へ長調
50	紅葉	7音音階	へ長調

順位	曲名	音階	調
51	やぎさんゆうびん	7音音階(第7音ナシ)	へ長調
52	たのしいね	7音音階(第7音ナシ)	へ長調
53	あくしゅでこんにちは	7音音階(第7音ナシ)	ニ長調
54	アメフリ	ヨナ抜き音階	ニ長調
55	うさぎとかめ	ヨナ抜き音階	ニ長調
56	ふしぎなポケット	7音音階	ト長調
57	とけいのうた	7音音階(第7音ナシ)	ニ長調
58	鳩	ヨナ抜き音階	へ長調
59	春よ来い	ヨナ抜き音階	イ長調
60	おなかのへるうた	7音音階	ニ長調
61	北風小僧の寒太郎	ヨナ抜き音階	へ長調
62	こおろぎ	7音音階(第7音ナシ)	変ホ長調
63	どんないろがすき	ヨナ抜き音階	ト長調
64	みかんの花咲く丘	7音音階	変ロ長調
65	七つの子	7音音階(第7音ナシ)	ト長調
66	パンダうさぎコアラ	7音音階(第7音ナシ)	ニ長調
67	おべんとう	ヨナ抜き音階	ハ長調
68	汽車ポッポ	ヨナ抜き音階	へ長調
69	ありさんのおはなし	7音音階(第4音ナシ)	へ長調
70	肩たたき	ヨナ抜き音階	変ホ長調
71	桃太郎	ヨナ抜き音階	ニ長調
72	春の小川	ヨナ抜き音階(第7音一ヶ所)	ハ長調
73	うたえバンバン	7音音階	変ホ長調
74	おうま	ヨナ抜き音階	ハ長調
75	アイスクリームの歌	7音音階	ハ長調(ト長調→イ長調)
76	世界で一つだけの花	7音音階	イ長調
77	大きなたいこ	ヨナ抜き音階	へ長調
78	ドキドキドン!一年生	7音音階	ハ長調
79	サツちゃん	ヨナ抜き音階	へ長調
80	まっかな秋	7音音階	へ長調
81	ドロップスのうた	7音音階	ニ長調
82	夏の思い出	7音音階	変ホ長調
83	靴が鳴る	ヨナ抜き音階	ニ長調
84	浦島太郎	ヨナ抜き音階(第4音一ヶ所)	へ長調
85	茶摘み	ヨナ抜き音階	ト長調
86	ツキ	ヨナ抜き音階	へ長調
87	山のワルツ	7音音階	変ホ長調
88	花	7音音階	ト長調
89	手をつなごう	7音音階	ニ長調
90	ともだちになるために	7音音階(第7音ナシ)	ハ長調
91	背くらべ	7音音階(第7音ナシ)、ヨナ抜きに聞こえるか?	ハ長調
92	さくら	ヨナ抜き音階	イ短調
93	證城寺の狸ばやし	ヨナ抜き音階(第4音一ヶ所)	ハ長調
94	かくれんぼ	5音音階(律音階)	イ短調
95	切手のない贈り物	7音音階	へ長調
96	金太郎	ヨナ抜き音階	へ長調
97	もみじ	ヨナ抜き音階	ニ長調
98	大きなうた	7音音階	へ長調
99	トマト	ヨナ抜き音階	へ長調?
100	われは海の子	7音音階	変ホ長調

出典：順位と曲名は全国大学音楽教育学会紀要（2009）別冊号53-55頁より

表4 フレーズ

順位	曲名	フレーズ
1	ぞうさん	2フレーズ
2	たなばたさま	4フレーズ
3	チューリップ	3フレーズ
4	手のひらを太陽に	6フレーズ
5	どんぐりころころ	2フレーズ
6	とんぼのめがね	3フレーズ
7	うれしいひなまつり	4フレーズ
8	手をたたきましよう	4フレーズ
9	かたつむり	3フレーズ
10	犬のおまわりさん	4フレーズ
11	げんこつ山のためぎさん	3フレーズ
12	しゃぼん玉	3フレーズ
13	たきび	4フレーズ
14	赤とんぼ	2フレーズ
15	一ねんせいになったら	2フレーズ
16	おもいでのアラバム	4フレーズ
17	コイノボリ	4フレーズ
18	うみ	2フレーズ
19	お正月	3フレーズ
20	ことりのうた	2フレーズ
21	そうだったらいいのにな	3フレーズ
22	南の島のハメハメハ大王	3フレーズ
23	雪	4フレーズ
24	バスごっこ	3フレーズ
25	おもちゃのチャチャチャ	3フレーズ
26	おかあさん	2フレーズ
27	こぶたぬきつねこ	2フレーズ
28	コンコンクシャンのうた	3フレーズ
29	世界中のこどもたちが	6フレーズ
30	あめふりくまのこ	3フレーズ
31	おつかいありさん	3フレーズ
32	おはながわらった	3フレーズ
33	にんげんっていいな	5フレーズ
34	春が来た	2フレーズ
35	小さい秋みつけた	3フレーズ
36	おはなしゆびさん	3フレーズ
37	かわいいかくれんぼ	3フレーズ
38	虫のこえ	4フレーズ
39	めだかの学校	3フレーズ
40	やきいもグーチーパー	2フレーズ
41	とんでったバナナ	3フレーズ
42	すうじの歌	2フレーズ
43	てるてる坊主	3フレーズ
44	アイアイ	4フレーズ
45	おばけなんてないさ	2フレーズ
46	カレーライス	2フレーズ
47	みんなともだち	10フレーズ
48	夕焼小焼	4フレーズ
49	あわてんぼうのサンタクロース	5フレーズ
50	紅葉	4フレーズ

順位	曲名	フレーズ
51	やぎさんゆうびん	4フレーズ
52	たのしいね	4フレーズ
53	あくしゅでこんにちは	3フレーズ
54	アメフリ	3フレーズ
55	うさぎとかめ	4フレーズ
56	ふしぎなポケット	2フレーズ
57	とけいのうた	3フレーズ
58	鳩	3フレーズ
59	春よ来い	4フレーズ
60	おなかのへるうた	4フレーズ
61	北風小僧の寒太郎	4フレーズ
62	こおろぎ	2フレーズ
63	どんないろがすき	2フレーズ
64	みかんの花咲く丘	4フレーズ
65	七つの子	4フレーズ
66	パンダうさぎコアラ	2フレーズ
67	おべんとう	3フレーズ
68	汽車ポッポ	6フレーズ
69	ありさんのおはなし	4フレーズ
70	肩たたき	10フレーズ
71	桃太郎	3フレーズ
72	春の小川	4フレーズ
73	うたえバンバン	6フレーズ
74	おうま	2フレーズ
75	アイスクリームの歌	9フレーズ
76	世界で一つだけの花	9フレーズ
77	大きなたいこ	2フレーズ
78	ドキドキドン！一年生	5フレーズ
79	サッチャン	3フレーズ
80	まっかな秋	4フレーズ
81	ドロップスのうた	8フレーズ
82	夏の思い出	4フレーズ
83	靴が鳴る	4フレーズ
84	浦島太郎	4フレーズ
85	茶摘み	4フレーズ
86	ツキ	3フレーズ
87	山のワルツ	3フレーズ
88	花	4フレーズ
89	手をつなごう	4フレーズ
90	ともだちになるために	8フレーズ
91	背くらべ	6フレーズ
92	さくら	3フレーズ
93	證城寺の狸ばやし	5フレーズ
94	かくれんぼ	3フレーズ
95	切手のない贈り物	4フレーズ
96	金太郎	3フレーズ
97	もみじ	4フレーズ
98	大きなうた	4フレーズ
99	トマト	2フレーズ
100	われは海の子	4フレーズ

出典：順位と曲名は全国大学音楽教育学会紀要（2009）別冊号53-55頁より

以下の図4は、表4をもとに分析対象楽曲のフレーズ数について集計した結果である。

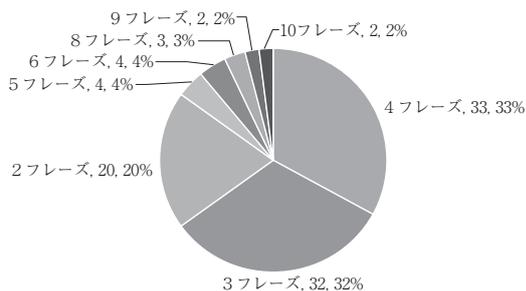


図4 表4のフレーズの内訳

「拍の流れ」という項目は、拍子の単位やリズムの単位などと理解することができようが、定義付けがはっきりしないため、本研究では「フレーズ」というまとまりで考察したい。曲を構成するフレーズの数、歌詞のまとまりに伴う音楽的なまとまりを優先的に考慮しながら概ね4小節を単位として区分した⁹。

その結果、4フレーズから成る曲が最多の33曲(33%)で、続いて3フレーズが32曲(32%)、そして2フレーズが20曲(20%)となり、それらで75曲(75%)を占めることが分かった。さらに、5フレーズと6フレーズが4曲ずつ(4%)、8フレーズが3曲(3%)、9フレーズと10フレーズが2曲ずつ(2%)となる。

最も多かった4フレーズから成る曲は、4小節を1つのフレーズとすれば、16小節から構成される。次に多かった3フレーズの曲は12小節、2フレーズでは8小節となる。したがって子どもの歌は、8小節から16小節までの曲からなる傾向があるということが見て取れる。

4. おわりに

本研究は幼児期と小学校低学年の接続期における歌唱教材をテーマとし、全国大学音楽教育学会が実施したアンケート調査結果のデータの中から、保育者が後世に伝承したい曲として挙げた上位100曲を取り上げ、これらの拍子やリズム、音階や調及びフレーズについて分析した。

まず、各曲の初出年を調べて集計した。その結果、保育者が選曲した曲で最も多かったのは昭和(戦後)に発表された曲で、全体の6割弱を占めていることが分かった。次いで明治、大正に発表された曲

であった。今回の分析対象曲の中で最も古い楽曲は明治21年初出の「さくらさくら」で、これは小学校第4学年の音楽科の歌唱共通教材にもなっている。これまでも世代を超えて歌い継がれてきた曲だが、後世に歌い継いでいきたい曲の上位100曲の中に含まれている。このことから、幼児期や児童期の子どもだけでなく、世代を超え幅広い年齢層の人々によって今後も歌い継がれていくことが期待できる。

拍子は単純拍子、複合拍子、混合拍子に分けられるが、分析対象の100曲の中に最も多く見られたのは単純拍子の4/4拍子で、次いで2/4拍子であった。これら2拍子系と4拍子系が圧倒的に多く、全体の91%を占めていたことから、子どもの歌唱活動は、これらの拍子に偏る可能性が高いと言え、拍子に着目して選曲することの必要性が示唆された。つまり2拍子と4拍子が支配的であることから、保育者は3/4拍子や6/8拍子といった3拍子系や複合拍子の教材性に着目した選曲を行う必要がある。ただ、分析の結果、前述した通り上位100曲中第1位の「ぞうさん」が3/4拍子であることや、上位18位までに3拍子の7曲のうちの4曲が含まれていることが分かった。この点は注目に値する。

リズムを分析した結果、付点のリズム(付点8分音符と16分音符の組み合わせによる、いわゆるピョッコ節)が100曲中20曲に認められた。他のリズムパターンよりも圧倒的に多く見られたことから、このリズムは歌唱教材の多くを占める2拍子系と4拍子系における特徴的なリズムと言えよう。

音階については、5音音階が半数近くを占めていた。これらの殆どは7音音階の楽曲が依拠する機能と声に基づいて理解することも可能であることから、本研究では調性による分類も行った。その結果、100曲の中では長調が圧倒的に多く、短調は5曲であった。歌唱教材の殆どは長調の楽曲で占められていたことから、歌唱教材を選択する際には短調の曲にも目を向け、意図的に挿入していくことも検討する必要がある。

拍の流れは、拍子やリズムの単位などと理解することができようが、本研究ではフレーズというまとまりで捉えた。分析の際には、歌詞のまとまりに伴う音楽的なまとまりを優先的に考慮しながら、概ね4小節を単位として区分した。分析の結果、4フレーズから成る曲が最多の33曲で、次いで3フレーズから成る曲が32曲、2フレーズから成る曲が20曲あり、これらが全体の75%を占めていた。子どもの

歌唱教材には、以上の2フレーズから4フレーズから成る曲が大半を占めているため、8小節から16小節までの小節数からなる曲が特に多いという結果に繋がる。

以上、本研究では、保育者が後世に歌い継いでいきたいと考えている曲の上位100曲を対象に拍子やリズム、音階や調、フレーズについて分析し、これらの曲を音楽要素の観点から捉え概観することができた。

今後、対象曲の順位をさらに拡大して分析することによってデータの蓄積を図るとともに、個々の曲の音楽要素を生かした活動プランについても研究を進めていきたい。

注

1. アンケート調査は、全国大学音楽教育学会の会員が共同研究として実施したもので、その集計結果は「共同研究 日本の童謡、子どもの歌の現状と分析—保育者養成校と保育現場アンケートより—」と題して、平成21年度研究紀要別冊号に掲載されている。
2. 全国大学音楽教育学会編著（2013）『明日へ歌い継ぐ日本の子どもの歌—唱歌童謡140年の歩み—』音楽之友社
この曲集は、全国大学音楽教育学会が学会創立25周年記念事業として出版した。
3. 本研究で援用した調査結果の曲目一覧については、前掲の全国大学音楽学会研究紀要別冊号53-64頁参照。
4. 前掲 5-8頁と64頁参照。
5. 初出年の取り扱いについては、前掲の全国大学音楽教育学会編著（2013）『明日へ歌い継ぐ日本のこどもの歌—唱歌童謡140年の歩み』音楽之友社の巻頭言にも記述がある。
6. この音型は、他に「港」「背くらべ」「コイノボリ」「うみ」「海」「ありさんのおはなし」など、日本の3拍子の曲に多用されている。初等科音楽教育研究会編（2013）最新初等科音楽教育法改訂版 音楽之友社 144頁には、この音型が日本的な3拍子のリズムとして用いられてきたことに関する記述がある。
7. 6音から成る楽曲も、機能と和声（7音音階により成立）の観点からは7音音階を前提として作曲されていると言える。ただ、結果的に7音中1音が抜けた6音による構成になったものだと

考えられる。なお、一般に西洋芸術音楽は7音音階、東洋音楽は概して5音音階で構成されるものと考えられている。

例えば、Jones, T. George (1974) *Music Theory*. Harper Collins Publishers. 39頁参照。

8. その証拠に和音奏が可能である。つまり、トニックとドミナント、またサブドミナントによるカデンツが設定できる。
9. フレーズは、楽句とも呼ばれるが旋律線の一区切りを指す。具体的には、カデンツ上に提示される楽想ないし主題であり、通常は4小節、中には8小節で構成される場合もある。前掲 Jones (1974) 88頁参照。

参考文献

1. 上田豊, 他 (2009) 日本の童謡, 子どもの歌の現状と分析—保育者養成校と保育現場アンケートより— 平成21年度全国大学音楽教育学会紀要別冊号
2. 全国大学音楽教育学会編著 (2013) 『明日へ歌い継ぐ日本のこどもの歌—唱歌童謡140年の歩み』音楽之友社
3. 長田暁二 (1998) 日本唱歌名曲集 音楽之友社
4. 伊藤嘉子・木許隆監修・編著 (2007) 『うたのファンタジー』圭文社
5. 大石みつ・下村幸・鳥居美智子 共編 (1980) 『幼児保育のための楽しい歌とあそび』音楽之友社
6. 小林美実 (1975) 『こどものうた200』チャイルド本社
7. 長田暁二 (1998) 『日本唱歌名曲集』全音楽譜出版社
8. 大石みつ・下村幸・鳥居美智子 共編 (2014) 『幼児保育のための楽しい歌とあそび』音楽之友社
9. 神原雅之・鈴木恵津子監修・編著 (2010) 『幼稚園教諭・保育士養成課程 幼児のための音楽教育』教育芸術社
10. 村上玲子・櫻井琴音・上谷裕子 編著 (2015) 『アクティブラーニングを取り入れた子どもの発達と音楽表現』学文社
11. 小学生の音楽1～6 (2015) 教育芸術社
12. Jones, T. George (1974) *Music Theory*. Harper-Collins Publishers.